

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

常盤台地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

常盤台地域ケアプラザの4連合町内会地区（上星川地区・常盤台地区・中央東部地区・和田地区）における共通の課題は、①更なる地域ネットワークづくり「つながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「支え合い」の推進③災害を見据えた日頃からの「防災」活動④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」等が挙げられます。

また、本年度も第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画（5ヵ年計画）の推進に向けて、地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)の一員として懇談会等の様々な場を通じて計画推進の一助を担ってまいります。

各地域の状況としましては、常盤台地区は「人材バンク」をテーマに開催したワークショップを契機に「助け合いバンク(仮称)実行委員会」を昨年度末に立ち上げ、ケアプラザとしては事務局としてお手伝いをする事になりました。本年度1年間を準備期間と位置づけ、次年度からの稼働を目指します。また、ケアプラザとしては昨年度より本格稼働した地区社会福祉協議会の活動を支援してまいります。

上星川地区は、昨年度から民生委員を中心に「ちょいボラグループ」が立ち上がり、ケアプラザとしても連携して要援護者の支援を行ないましたが、本年度も引き続き連携・支援いたします。

和田地区は「ほっとなまちづくり推進委員会」を定期開催して準備し、平成29年2月に「第2回ワールドカフェ」を開催して幅広く住民意見を交換しました。ケアプラザとしてもファシリテーターとして企画段階から関わらせていただきました。本年度もワールドカフェで寄せられた意見を参考に5ヵ年計画を推進するお手伝いをいたします。また、広報委員会を通じて準備した広報紙「はーとびあ」の編集にも引き続き関わります。

中央東部地区は狭隘道路や坂道の多さ、住民が集まれる公共施設が無いといった地理的な課題があります。そのことを確認する意味で平成28年8月にケアプラザを含めた支援チームで街歩きを行いました。また、鎌谷地区の介護予防事業をケアプラザ主導で展開し、「転倒予防体操教室スマイル」を2月に立ち上げました。本年度も引き続き転倒予防体操教室の運営支援及び認知症カフェの開催を目指した検討をすすめます。

各地区共通の支援方針としては、出張講座等を増やして地域活動との連携を模索していきます。また、福祉・保健に関するご相談が多い地域でもあるため、迅速に対応・訪問するよう留意します。

本ケアプラザ担当地域は、山坂が多くプラザに足を運びにくい方々も多くおられます。出来るだけ現地に足を運ぶことで、地域住民に負担を掛けないように配慮するとともに、各地域住民の方々と的一步踏み込んだ話し合いができる関係づくり、協働できる関係づくりを目指していきます。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

#### （目標）

- 地域ケアプラザは、高齢者・障害者・子ども・子育て世代等の様々な地域住民にとっての身近な相談窓口であるとともに、福祉保健の拠点施設であることを、自治会町内会・老人会・サロン等様々な場を活用してPR・情報提供するとともに、様々な場面を通じて地域住民からの相談を聞き取ります。

#### （具体的な計画）

- 様々な地域の集まり（老人会・食事会・サロン等）に参加し、直接参加者の方から困り事を聞き取ります。
- ときわカフェ、認知症カフェ等にケアプラザ職員が入って気軽に相談できる場面を作ります。また、日頃気になっている方に声をかけてお誘いするよう意識していきます。
- 乳幼児や障がい児についても子育てサロンや障がい児余暇支援事業等を通じて相談や困りごとをキャッチしていきます。

### (2) 各事業の連携

#### （目標）

- 生活支援コーディネーターを含めた所長及び5職種が協働で各種事業を行うよう日頃から意識して業務にあたることを目指します。

#### （具体的な計画）

- 5職種会議（所長含む）において、更に個別の課題共有や地域分析の共有に努めます。
- 5職種会議（所長含む）においては単なる情報共有にとどまらず、個別支援をいかに地域支援に結び付けていくか、各職種が考えながら役割を見出すことを意識して行きます。
- 地域ケア会議及び生活支援体制整備事業の協議体はケアプラザ全体で地域課題を検討する必要があることから、所長・5職種協働で進めていきます。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

#### （目標）

- 各部門別及び職員個人別に年間研修計画を作成し、職員の資質向上のため積極的な研修受講を奨励していきます。
- また、法人全体で事業所間の相互交流が図れるよう検討します。
- 事業所内で情報共有が図りやすい、風通しの良い組織風土を目指します。
- 事業所全体で中立・公正性の確保を意識していきます。

#### （具体的な計画）

- 法人全体で事業所間の相互交流が図れるよう現場職員による委員会を継続します。
- 部門毎のミーティングを充実させるとともに、重要なテーマについては部門を超えたミーティングを持ち組織全体での情報共有を図ります。
- 研修報告を全体に周知する工夫を検討します（回覧及び会議における報告等）。
- 職員の中立・公正性の確保については、全体職員会議等において、中立・公正性を含めたケアプラザ職員としての倫理観を周知徹底していきます。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

##### (目標)

- 本ケアプラザエリアである4 連合町内会各々と相互に連携・協力できるよう連合町内会定例会、地区社会福祉協議会定例会、民生委員児童委員協議会、地区懇談会、運営協議会等の機会を捉えて、一歩踏み込んだ話し合いができる関係づくりを目指します。
- 横浜国立大学や近隣の小中学校との連携を更に推進します。
- 子どもや障がい児等の関係づくり、ネットワークづくりをすすめます。

##### (具体的な計画)

- エリア内4 連合地区の定例会に出席するとともに、課題の共有や投げかけに努めます。
- ワークショップ等を通じて横浜国立大学と地域住民の関係づくりをすすめます。
- イベントや地域の防災訓練、認知症サポーター養成講座等を通じて近隣小中学校との連携を深めます。
- 子育て支援連絡会等を通じて、関係者間の情報交換・課題共有に努めます。
- エリア別児童虐待防止連絡会を通じて関係者間の情報交換・課題共有に努めます。
- 発達障がい児向けの事業を通じて親同士、子供同士の関係づくりをすすめます。

#### (5) 区行政との協働

##### (目標)

- 本年度は保土ヶ谷区地域福祉保健計画「ほっとなまちづくり」第3期計画の推進に向けて、区役所・区社会福祉協議会と協働して計画実行の一助を担ってまいります。
- 第3期計画の実現に向けて、エリア内各地区における地区懇談会を継続し、実現可能で現実的な議論を深めることを目指します。
- 高齢者見守り支援事業を区役所と協働で充実させていきます。
- 障がい児余暇支援事業を区役所・区社会福祉協議会・自立支援協議会等と協働ですすめます。
- 子育て関連事業に関しても、区役所等関係機関と連携して充実させていきます。

##### (具体的な計画)

- エリア内4 地区それぞれにおいて第3期地区別計画の推進の一助を担います。ケアプラザとして把握している課題の地域との共有に努め、議論のきっかけを提案します。
- SOSネットワークをはじめとする高齢者見守り支援事業を区役所と連携してすすめます。
- ほっとフレンズ等の障がい児余暇支援事業を区役所・区社会福祉協議会・自立支援協議会等と協働ですすめます。
- 子育て支援連絡会や児童虐待防止連絡会等を通じて区役所・関係団体と連携して子育て事業の充実を図ってまいります。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

##### (目標)

- 高齢者・中高年対象の事業も継続しながら、障害児余暇支援や子育て広場の事業を充実させていきます。

##### (具体的な計画)

- 障害児余暇支援事業として、親子参加での外出事業を開催していきます。

- 本年度は父親育児講座に換えて、子育て事業「ハハトコ広場」において、母親だけでなく父親も一緒に参加できる、工作教室やコンサートを開催していきます。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

### (目標)

- 地域における身近な福祉保健活動施設としてケアプラザで行っている内容を具体的に発信していきます。

### (具体的な計画)

- 自主グループ団体紹介をA4のチラシではなく、より見やすい冊子にし、地域住民へ配布することによって、ケアプラザの活動団体の利用を促進していきます。また地域の方々がケアプラザの事業に参加しやすくなるように周知していきます。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

### (目標)

- ボランティアの担い手発掘とボランティア活動の魅力のアピールしながらボランティア同士のネットワークを広げていきます。

### (具体的な計画)

- よこはまシニアボランティアポイント講座を生活支援コーディネーターと協働で開催します。
- ボランティア活動の内容として、子育て広場や体操教室、又デイサービスでの演奏活動の様子を広報誌等を通じて情報発信していきます。
- 生活支援コーディネーターと協働してボランティア感謝祭を開催します。

## (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

### (目標)

- 地域とどのような連携ができるかを具体的に生活支援コーディネーターと一緒に考え、取り組んでいきます。
- 自治会・町内会等から得た情報を集約して、地域に広く広報していくお手伝いをしていきます。

### (具体的な計画)

- 常盤台・和田・釜台地区社会福祉協議会の広報委員として、地域活動の周知・広報に努めるとともにケアプラザの役割もアピールしていきます。
- 各連合町内会定例会に参加して情報発信し、地域に幅広く周知・広報するように努めます。
- 生活支援コーディネーターとの情報交換を密にして、幅広く活動情報を収集して、それをまた広く地域に発信していきます。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

##### (目標)

- 地域の実情に合わせた支援について目標を設定し、連携を図ります。
- 毎月の生活支援コーディネーター連絡会等を通して、区役所・区社会福祉協議会や他ケアプラザと情報の共有を行います。

##### (具体的な計画)

- 5職種会議等を活用し、地域の様々な情報を共有・分析し、地区ごとの実情に合わせた支援を行います。
- 社会参加・介護予防の視点から、鎌谷町体操教室の自主化に向けて、保健師と連携し支援します。
- 連携体制強化を意識し、生活支援コーディネーターの取組を発信し、事業理解を深める機会を設けます。
- 生活支援コーディネーター連絡会等で把握した区域情報、事業推進方法等を所内で共有し、業務に活かします。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

##### (目標)

- 地域の活動や会合等に積極的に参加し、情報収集アセスメントを行います。
- 個別ニーズからも地域課題を把握し、地域分析を行います。
- 収集した様々な情報を共有、活用のため整理し、マップ作成等を行います。
- 活動継続・発展等の課題把握のためにアンケート調査を行います。
- 課題として挙げられている担い手発掘、ネットワークづくりの支援を行います。

##### (具体的な計画)

- ケアプラザから離れた地域にも出向き高齢者の個別のニーズ、地域資源・課題等を把握・分析し支援します。
- 地域情報を分析・活用しやすいよう整理しシートやマップ等で見える化を行います。
- アンケート結果をもとに地域の課題共有、投げかけを通して、活動継続、資源開発の支援を行います。
- 地域活動交流コーディネーターと協働で、よこはまシニアボランティアポイント登録研修会、ボランティア感謝祭を開催します。

#### (3) 連携・協議の場

##### (目標)

- 4地区さまざまな会合へ5職種連携して参加し、情報把握します。
- 連携協議の場への参加を通じて、地域住民との顔の見える関係作り、各機関と地域住民のつなぎ役として支援を行います。
- 前年度開催した協議体を踏まえ、今年度の開催内容等を検討します。
- 生活支援体制整備事業の周知、さまざまな機関と連携を目指します。
- 地域の課題解決に向けた新たな取り組みを支援します。

##### (具体的な計画)

- 毎月発行の広報紙への記事掲載、説明資料等を活用し、事業周知を行います。
- 生活支援・介護予防・社会参加の視点へ重きを置き、連携協議の場を活用し、必要とされる情報提供等支援を行います。
- 地域課題や既存の取組の情報共有、ネットワーク構築を目的に平成29年3月14日に開催した協議体を踏まえ、今年度はより地区の実情に合わせた内容での開催を検討

します。

- 常盤台地区で昨年度から検討されている、支え合いの仕組みづくり「ありが隊」の協議の場に参加し、個別ニーズや他地区取組情報の提供等を行い、支援します。
- 中央東部地区で検討されている「認知症カフェ」集いの場の立ち上げを支援します。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

(目標)

- 他地区の情報を参考に、担当圏域の課題解決に向けた支援を検討します。
- 包括圏域の課題を共有し、区域で共通する課題解決に向けた方法を検討し取り組みます。

(具体的な計画)

- 毎月の生活支援コーディネーター連絡会等を活用し、情報共有・課題共有を行い、解決に向けた具体的な取組を検討します。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

(目標)

- 各地区の民生委員、地区社協、自治会と連携し、地域情報や課題を把握します。
- 個別の地域住民の方々との交流も大切に、情報や課題を把握します。
- 情報収集、地域課題の把握の為に、地域に向けた事業を実施します。
- 情報源、協力相手として他職種と連携します。
- 総合相談を受けた方を継続的に情報共有し実際の地域診断につなげます。
- 包括内で情報共有します。

(具体的な計画)

- 各地区社協の定例会に参加し情報交換を行います。
- 民生委員と日頃から密に連携し、情報の交換を行います。
- 各自治会と連携し、老人会や会食会、体操教室、出張講座等の地域活動への参加を通し、地域における情報交換や課題を把握します。
- 認知症 SOS ネットワークに参加し、地域ネットワーク充実に取り組みます。
- 既存事業の継続充実に図り、地域課題の把握情報交換をします。
  - ① 認知症カフェ：  
認知症またはその心配のある方の相談場所、憩いの場所としての役割を強化する為に、地域の方々にご理解と協力を求めます。
  - ② ピーポーワン：  
サポーター養成講座開催。2年間の様々な効果を周知し、意義を広めると共に、主旨に賛同してくださるメンバーを募集します。
  - ③ ときめいと：  
連絡会を定期開催しメンバー間で事業の検討をしていただけるようサポートします。サポーター養成講座は依頼元にあわせた講座を実施できるよう取り組みます。
- 多職種連携会議を開催しネットワーク作りに取り組みます。
- ケースの経過を把握する為に、地域のケアマネジャーと連携、情報収集し、実際の統計、地域診断に役立てます。
- ケアマネ連絡会で民生委員とケアマネジャーが、連携しやすい仕組み作りを行います。
- 包括圏域地域ケア会議で個人レベル地域ケア会議から抽出された共通課題を報告し、

検討します。

- ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握し、必要な方には適宜働きかけをします。
- 自主事業を通じて他分野の専門家の方と連携し、地域の問題解決に活かします。
- 毎朝の包括ミーティングと毎月の包括会議で、課題の検討と情報共有を図ります。

## ②実態把握

(目標)

- 地域の方々、ケアマネジャー、各種地域向け事業などで情報を収集します。
- 個別情報を追いかけて収集し、実地に利用できる統計・分析を行います。
- 整理された情報を職員間で共有し地域の実態把握を広く厚みのあるものにします。

(具体的な計画)

- 個別情報の経過を追う為、ケアマネジャーとの連携を強化します。
  - ① 事例相談、同行訪問などケアマネジャーが相談しやすい環境作りをします。
  - ② 地域ケアマネジャーに、地域包括ケアの一員であることを理解し、協力していただけるよう働きかけます。
- 民生委員と密な連携を構築し、随時発生する事案に対し、個別相談、同行訪問により、実態把握します。
- 多職種連携会議、地域ケア会議、地区社協運営会議、SOS協力機関、サポーター養成講座、認知症カフェ、ピーポーワン、ときめいと連絡会、国大ワークショップ等を通して、情報提供を依頼します。
- 各自治会の老人会や体操教室、出張講座等の地域活動へ参加し、情報交換、地域課題の把握を図ります。
- ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握します。
- マップの情報を随時更新します。

## ③総合相談支援

(目標)

- 各地区の自治会、民生委員、地区社協と連携し、地域情報や課題を把握し、適切な支援につなげます。
- 情報収集、地域課題の把握の為に、地域に向けた事業を実施します。
- 情報源、協力相手として他職種と連携します。
- 総合相談を受けた方を継続的に情報共有し実地的な地域診断につなげます。
- 包括内で情報共有します。

(具体的な計画)

- 各自治会と連携し、老人会、体操教室、出張講座等の地域活動への参加を通し、地域における情報交換や課題を把握します。
- 民生委員、地区社協からの個別情報に迅速に対応します。 ○  
認知症ネットワーク SOSに参加する地域ネットワーク充実に取り組みます。
- 既存事業の継続充実を図り、地域課題の把握情報交換をします。
  - ④ 認知症カフェ：  
認知症またはその心配のある方の相談場所、憩いの場所としての役割を強化する為に、地域の方々にご理解と協力を求めます。
  - ⑤ ピーポーワン：  
サポーター養成講座開催。2年間の様々な効果を周知し、意義を広めると共に、主旨に賛同してくださるメンバーを募集します。
  - ③ ときめいと：  
連絡会を定期開催しメンバー間で事業の検討をしていただけるようサポートします。

サポーター養成講座は依頼元にあわせた講座を実施できるよう取り組みます。

- 多職種連携会議を開催しネットワーク作りに取り組みます。
- ケースの経過を把握する為に、地域のケアマネジャーと連携、情報収集し、実際的な統計、地域診断に役立てます。
- ケアマネ連絡会（民生委員との交流会）で、連携しやすい仕組み作りを目指します。
- 包括圏域地域ケア会議で個人レベル地域ケア会議から抽出された共通課題を報告し、検討します。
- ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握し、必要な方には適宜働きかけをします。
- 自主事業を通じて他分野の専門家の方と連携し、地域の問題解決に活かします。
- 毎朝の包括ミーティング、毎月の包括会議開催を通して、情報の検討と共有を図ります。

## （２）権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

（目標）

- 成年後見制度利用促進に向けて、制度の講座を受講しにくい方に参加していただけるよう日時を検討します。老人会、体操教室、出張講座等地域に向けてミニ講座を開催します。
- 消費者被害が広がらないように、情報を伝えるだけでなく何をどのように気をつければ良いか具体的な方法を伝える講座を企画します。

（具体的な計画）

- 家族の大黒柱を失った場合を想定した研修会を開催予定です。地域の現役世代の方を対象に休日（日曜日）開催し、相談会を同時開催します。また、区長申立てや親族申立てが必要な事例に関して、家裁の手続きが円滑に出来るようアドバイスをいたします。
- 消費者被害の防止に関して地域のつどい、老人会や体操教室などに参加してミニ講座を開催し注意喚起するとともに、地域の支え合いの啓発にもつなげます。

### ②高齢者虐待への対応

（目標）

- 総合相談から虐待などの情報があれば早急に対応致します。  
また、「虐待とは、どんなこと？」という意識を地域の方に持ってもらえるよう講座を開催します。
- 訪問看護連絡会・施設連絡会に赴き虐待防止に関する普及啓発講座を開催予定です。

（具体的な計画）

- 身近な地域のつどい、老人会などに赴き「虐待とは？」のテーマで一緒に考えてみる機会を作ります。
- 「虐待とはどんなことをさすのか」「対応はどうすれば良いのか」を一緒に考える地域の方向けミニ講座を開講します。
- 近隣の病院や施設などと定期的に情報交換をして対象者を把握し対応いたします。



### ③ 認知症

#### (目標)

- 高齢者の認知症と並行して、若年性認知症についても理解を深められるような取り組みを目指します。

#### (具体的な計画)

- サポーター養成講座について、今年度も「ピーポーワン」登録者を対象に青空の下、サポーター養成講座を開催したいと考えています。
- 昨年度に引き続き、保土ヶ谷中央病院のオレンジラインチームと協働で「保土ヶ谷中央病院」の職員向けにサポーター養成講座も検討中です。
- 保土ヶ谷中学校・横浜国大など平成30年も開催予定です。今後、キャラバンメイト「ときメイト」のメンバー中心に企画をしていく予定です。
- 認知症高齢者見守り事業「ピーポーワン」は開催したことの無いエリアにも広報活動をしてボランティア登録を呼びかけていきます。
- 「オレンジ・ボラ」事業では「オレンジカフェ」などのイベントに認知症の方も活躍できるように、今後も民生委員さんにも協力いただき閉じこもりがちの方等に参加を呼びかけていきます。
- 認知症カフェは既に4月に有料老人ホームにて「さくらカフェ」を実施いたしました。「あじさいカフェ」「夕涼みカフェ」等々毎回テーマと開催内容に趣向を凝らし企画いたします。音楽療法やコグニサイズを取り入れ参加型のカフェを計画中です。野菜の収穫をカフェに取り入れた「収穫祭」など、参加者が楽しく参加できるような工夫をします。  
ラポール三ツ沢ではオリジナルの企画にて偶数月で開催予定、後方支援いたします。
- 認知症家族の会「ゆうづる」は隔月に開催いたします。介護者同士のピアカウンセリングが癒しの場になるよう計画します。  
今年度も施設見学や脱水の勉強会、成年後見制度のミニ講座など開催しています。参加することで少しでも介護に役立つ家族の会になるよう企画していきます。
- 地域で行うミニ講座やつどいの場でパンフレットなどを利用して若年性認知症についても理解をしていただけるよう情報を伝えていきます。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

#### (目標)

- 地域包括ケアの実践を目指します。
- 地域の方、多職種の方々と共に地域の情報収集を行います。
- 地域ケア会議で地域課題を検討します。
- 地域ケアプラザ内、区役所の地区担当との情報共有を推進します。

#### (具体的な計画)

- 地域包括ケアの周知の機会を作ります。
  - ① 各自治会・町内会・老人会等のサロン等を利用し、出張講座を開催、介護保険制度、地域包括ケア等の説明をします。
- 地域課題を把握し、関係者と共有します。
  - ① 相談票の統計から地域課題を抽出、地域ケア会議で検討します。
  - ② ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」で、民生委員と協力し情報収集、訪問を行います。
  - ③ 民生委員とケアマネジャーの交流会を開催し、地域の課題解決を協働できるネットワークの構築を図ります。
- 個別地域ケア会議で抽出された地域課題を包括圏域地域ケア会議に挙げ、地域全体の課題として取り組みます。
- 5職種の定例会を実施し、情報共有を促進します。
- 区役所の地区担当者と情報共有を密に行い、他方との連携促進に役立てます。

## ②医療・介護の連携推進支援

### (目標)

- 多職種間のネットワークを構築します。
- 基幹病院の相談室と協働する事業に積極的に取り組み、関係強化を図ります。
- ネットワークを個別事例で活かせる様、配慮します。

### (具体的な計画)

- 多職種連携会議を開催し、連携の意識付け、共通の課題抽出、ネットワーク構築を図ります。
- 地域の基幹病院相談室と連携し、協働します。
- 医療機関からの依頼事例に迅速に対応し、情報共有しつつ支援を行います。
- 個々のケースについて、主治医、地域連携室、退院調整看護師、在宅医療連携室と連携します。
- ケアマネジャーの医療連携を退院カンファレンス同行等を通して支援します。
- 地域の開業医院、中核病院を訪問し、個別の支援依頼、情報交換と共に地域包括ケアについて確認します。
- 健康講座の共催、病院主催のフェスティバル支援、などを通し連携強化を図ります。
- ケアマネ連絡会に認知症専門医を招き、認知症の方の支援方法を学ぶ場を設けます。
- ケアマネ連絡会に訪問診療医を招き、在宅での看取り、グリーンケアなどを学びます。
- ケアマネジャーの事例検討会に管理薬剤師、管理栄養士を招き、学びの場とすると共に、連携構築を推進します。
- 地域ケア会議に医療従事者を招き、医療の観点から意見を頂きます。特に横浜市障害者支援センターとの連携構築に努め、会議参加につなげます。

## ③ケアマネジャー支援

### (目標)

- 新任ケアマネジャーが自立支援に資する適切なマネジメントができるよう支援します。
- ケアマネジャーの困難時の対処能力向上を図ります。
- 居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの育成支援をします。
- 地域包括ケアの担い手となっていただきます。

### (具体的な計画)

- 新任ケアマネジャー研修を実施します。
  - ① 座学により、横浜市のサービス、他法、インフォーマルサービス、介護予防の考え方、地域包括ケア等を学ぶ場を設定します。
  - ② 個別に臨場体験同行します。
  - ③ 施設見学をし、各々の施設の差異を学ぶ場を提供します。
  - ④ 市福祉機器センターで福祉機器、在リハ等を学びます。
- アセスメントによる根拠を明確にした課題を抽出できるように学ぶ場を設けます。
  - ① 課題整理総括票、ICFなど、厚生労働省の指導する基準に沿った研修を行います。
  - ② 個別のケアプランについて担当ケアマネジャーと一緒に検討します。
- 困難な事例について、自身で解決できるよう、支援します。
  - ① 事例検討会で困難事例の対応方法をグループワーク等を通し、学ぶ機会を作ります。
  - ② 多職種の講師から学ぶ機会を設け、マネジメントに活かします。
  - ③ 電話相談、面接相談、同行訪問、サービス担当者会議開催支援、地域ケア会議により支援します。
  - ④ 情報提供支援を行います。
  - ⑤ 区役所、社協、民生委員、地域資源、医療機関、警察等多職種との仲介を支援します。
  - ⑥ ケアマネ連絡会を定期開催し、学びの場を提供します。
  - ⑦ 日頃から居宅介護支援事業所を訪問、情報提供すると共に、相談しやすい環境を作

ります。

- 主任ケアマネジャーに必要なスキルアップのための支援をします。
  - ① ファシリテーションの基礎講座と演習を行い、実際に、ファシリテーターとして活躍できるよう育成します。
  - ② 地域包括ケアの意識付けをし、積極的に関わる姿勢を育てます。
- 地域包括ケアの意識付けをします。
  - ① 主任ケアマネジャー連絡会、ケアマネジャー連絡会、事例検討会を通じ地域包括ケアの意識を高めます。
  - ② 民生委員と連絡会を開催し地域包括ケアを協働することができるよう、働きかけます。
- 区ケアマネジャー連絡会である「ほどがやケアマネット」の幹事として研修開催の支援をします。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

(目標)

- 生活圏域での多職種連携の充実を目指します。

(具体的な計画)

- 既存の連携に留まらず、新しい視点を模索し地域資源を掘り起こします。
- 地域ケア会議に於いて、課題解決に繋がる職種の参加を依頼します。
  - ① 今年度は他地域から転入し地域と交流の無い方々の事例を、課題として注目する予定です。
- 多職種連携会議を生活圏域で継続実施し、連携の充実を図ります。
- 医療機関と協働しケアマネジャーとの連携の場を提供します。
- 事例検討会のゲスト、地域ケア会議の参加者として多職種の方々を招き、互いの関係構築を支援します。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

(目標)

- 自立支援の視点をもったケアマネジャーを育成します。

(具体的な計画)

- 事例検討会を毎月開催し、自立支援に資したケアマネジメントができるよう支援します。
- 介護予防体操等をケアマネジャーが体験できる機会をもうけ、体力向上を踏まえたケアマネジメントの重要性を知っていただきます。
- 予防成功事例をケアマネジャーにフィードバックし、ケアマネジメントの方向修正を図ります。
- 新任ケアマネジャー対象の研修を行い、介護予防、自立支援の考え方を学ぶ場とします。
- ケアマネジャーからの個別相談に対し、介護予防、自立支援を踏まえたケアプラン作成支援、困難事例支援、家族調整、他機関との調整、同行訪問、担当者会議出席などの対応をします。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

#### (目標)

- 既存の各グループへの後方支援等、継続的に行っていきます。
- きらりシニア塾の新規立ち上げに向け、区と連携を取りながら進めていきます。
- ケアプラザから遠い地区（峰沢町、岡沢町、鎌谷町等）での介護予防事業を支援します。
- 地区診断を元に課題のある地域への働きかけ(出張講座等)を行っていきます。

#### (具体的な計画)

- きらりシニア塾、今年度の目標である3ヶ所立ち上げに向け支援して行きます。
- 昨年度に続き鎌谷町の体操グループの自主化を目指します。
- 前年度に引き続き、各体操グループ・リーダー連絡会・交流会を開催し意見交換、ネットワーク構築を目指します。
- 既存のきらりシニア塾の後方支援を継続的に行い、新たな担い手の発掘を行います。
- ケアプラザから遠い地域(峰沢町岡沢町エリア)で、介護予防事業を展開し、自主化に向けた支援を積極的に進めていきます。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設であることを踏まえて、ご利用者が安心・安全にご利用いただけるような施設管理に努めてまいります。

具体的には、空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の保守点検については、専門の事業者へ委託して定められた内容の点検を行い、各事業者との連絡調整により確実な現状把握を行います。また、建築基準法にともなう点検を実施し、その結果を区に報告し、適切な保守・修繕の計画を行います。

また、館内の清掃は事業者によって各月の休館日に行い、その他毎日の館内点検・清掃等は職員が行います。植栽等は職員・ボランティアによって保全管理します。

1階デイサービスフロアの清掃は休館日前日である第4日曜日に行います。清掃日を分けることで、各々の清掃により時間をかけることが可能です。

## イ 効率的な運営への取組について

- (1) ケアプラザの運営費は税金から支出される指定管理料、そして介護保険料と税金を財源とした介護報酬および利用者からの利用料金からなっています。いずれも利用者が満足を得るサービスの対価であることを、職員一同肝に銘ずる必要があります。そのため、利用者の満足度を引き上げる計画性をもった事業執行を行わねばなりません。
- (2) 施設利用者の満足度を上げるためには、地域・利用者のニーズに根ざした事業展開を図ることが必要であり、地域活動、地域包括、居宅介護支援、通所介護の各部門とも適切な年間事業計画のもとで事業を行います。
- (3) 利用料金収支の健全、運営費の適切な運用には、事業計画のもとで適切な職員配置によって人件費の節約を図ることが求められます。専門的に配置されている職員が自らの職域のみに埋没することなく、プラザ全体の協働意識の中で専門性を発揮し、それを補佐して効率的な事業執行のために適時非常勤職員の雇用をします。また施設管理や通所介護部門においてはボランティアの協力のもとで経費節減を図ります。
- (4) 施設の省エネを実行するため、国の省エネ法に基づく「管理標準」を策定します。マニュアルを定めて、しっかりと省エネ対策に取り組み、さらに取組状況を把握することでより効率的な対策を図ります。
- (5) 施設・設備管理においては確実な保守点検により、早い対処によって長期の経年使用ができるよう努めます。修繕については区と協議の上適切に対応します。
- (6) 経費節減によって得た利用料金収入は、新たな事業計画の資金とし、また安定した雇用を確保するための財源として有効活用します。
- (7) 地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関しましては、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら全体の事務作業の効率化に努めてまいります。
- (8) 建物管理、保守等の経費を合築施設のコミュニティハウスと適切に按分負担して負担の効率化を図ります。

#### ウ 苦情受付体制について

各種講座や自主事業で実施するアンケート、及び年1回実施するケアプラザ全体のアンケートを集計、分析することでニーズ把握に努めるとともに、期限を設けて振り返りと改善を行ない施設運営に反映させています。

また、出張講座やワークショップ、町内会への出席等、直接地域の皆様の意見を伺う機会を設けています。

本プラザ入口付近の目に付きやすい場所に意見箱を設置しており、寄せられた意見の回答を意見箱の上に掲示していきます。

様々なご意見・ご要望・苦情に対して、事業毎に苦情相談窓口を設置して対応していきます。寄せられた苦情については、施設内の事故・苦情解決委員会において施設としての対応を検討してまいります。改善できるものについては、できるだけ早く改めるよう努めます。

また苦情解決マニュアルを策定し、事業所としての苦情対応の基本について周知しています。

さらに第三者委員を2名委嘱し、第三者委員に直接連絡できるように氏名・連絡先を掲示していきます。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災に関しては、消防法に則り合築コミュニティハウスとの共同防火管理協議会を設置して消防計画を作成し、統括防火管理者を選任していきます。

年間2回の防災訓練を行うと同時に、消防機器点検を実施していきます。

また、非常災害時における特別避難場所としての機能を果たすため、応急備蓄物資の整備を進めていきます。

防犯対策としては、職員による日々の開館・閉館時間の記録を行っており、職員不在時間の把握に努めています。建物警備については、もし閉館時間帯に異変が起きた場合には警備会社が警備員を派遣し、地域ケアプラザ責任者に電話報告を行います。また、職員による日々の点検・清掃記録を実施していきます。

## オ 事故防止への取組について

日々の職員及び利用者の方々の気づきによって建物内の危険箇所を把握し、改善に努めていきます。

万が一事故が発生した場合には、本ケアプラザで定めた事故予防・事故対応マニュアルに沿った事故対応・事故報告を行います。

日頃からケアプラザ内の事故・苦情解決委員会において、マニュアル内容を周知するとともに、ヒヤリハットを含めたプラザ内の事故・苦情について、報告及び再発防止策の検討を行っていきます。

事故予防・事故対応マニュアルは、事務所に誰でも閲覧できるようにしています。

また、本プラザ内で発生した事故報告書を作成、回覧して周知するとともに、介護保険事業の場合には、「介護保険事業者における事故発生時の報告取扱い要領」に従い発生後速やかに区、市に報告いたします。

\* 昨年 12 月より、保土ヶ谷区への事故報告の基準・様式が変更になったことに伴ない、新ルールに則った報告に留意します。

## カ 個人情報保護の体制及び取組について

### (1) 個人情報の保護について

①横浜市個人情報保護条例、法人マニュアルをもとに年 1 回以上職員に対しての研修を行い、また職員の採用毎に研修を行って個人情報漏えい防止チェックシートを記入してもらうとともに、個人情報保護に関する誓約書の提出を求めます。

②電算機に関する個人情報はパスワード設定による管理を行い、USBメモリー等の電磁媒体による個人情報管理は禁止としており、ノートパソコンは鍵のかかる場所に保管しています。

③コンピューターはLAN構築し、各端末機に立ち上げの際のパスワード設定を行い、安全管理していきます。また、ウイルス対策等のWEB上での安全管理については、ウイルス対策ソフトを導入し、安全対策を行いました。また、インターネット接続の際はプロバイダーによるフィルタリングを行い、安全性を高めました。

⑤個人情報の送付は郵送を原則とし、請求書等の郵便物の封入は二人以上のチェックにて行います。FAXによる場合は、マスキングのうえ二人以上の確認で送付します。

⑥個人情報が記載されたファイル等の施設外持ち出しは、事前に上司の許可を得た場合以外は禁止し、持ち帰りは認めません。

### (2) 情報公開について

①「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めます。



②本プラザに関しての情報公開として、「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」、「ケアプラザの管理に関する年度協定書」のほか下記のことを掲示、ファイリングして公開しています。また、「利用者アンケート結果」についてもファイリングして常時掲出していきます。

事業報告書	事業計画書	収支予算書
決算報告書	運営規定	契約書・重要事項説明書
所長へのご意見	倫理規程	第三者評価結果シート
個人情報保護に関する基本方針	組織図	個人情報保護に関する基本方針
特別避難場所の協力に関する協定		

③法人なでしこ会ホームページ上で法人の決算書の公開をしています。

#### キ 情報公開への取組について

本プラザにおいて情報開示の請求があった場合には、「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」よう努めてまいります。

本プラザに関しての情報公開として、事業報告書、決算報告書、「利用者アンケート結果」等をファイリングして公開していきます。

また、第三者評価結果シートについてもファイリングして公開していきます。

さらに、本プラザ広報紙や区の広報、保土ヶ谷区社会福祉協議会ホームページ等を活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供してまいります。

#### ク 人権啓発への取組について

横浜市人権施策基本方針に則り、全職員に対して倫理規定を基にした倫理研修を実施し、幅広い人権理解及び人権意識の向上を目指します。

権利擁護の啓発を目的とした自主事業を開催し、地域住民に権利擁護の周知を図るとともに、相談に対する助言も行ないます。

館内に成年後見制度、障がい者制度、消費者被害防止などに関するポスター、チラシを掲示して幅広い人権の啓発に取り組んでいきます。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

ごみゼロルート回収を実施し、市役所ごみゼロのルールに基づいた適切な分別・リサイクルを職場全体に浸透、定着させるよう引き続き努めます。

また、保土ヶ谷区役所と協力して施設の緑化推進に取り組めます。屋内外の植栽の維持管理等、環境保全にも協力していきます。

合築コミュニティハウスと協力して2階光庭部分をウッドデッキ化し、地域のボランティアを活用したガーデニングスペースとして更に緑化をすすめます。

「省エネ法」に基づく「管理標準」を策定し、適切なエネルギーマネジメントを目指します。

裏紙使用の推進、適正な冷暖房設定、不要な照明の消灯等、管理経費の削減とともに地球温暖化防止にも配慮していきます。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	1名（常勤専従）

#### 《目標》

要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

自己負担なし（全額保険給付）

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

サービス対象地域：鎌谷町・峰沢町・岡沢町・常盤台・和田1～2丁目・  
峰岡3丁目・上星川1～3丁目・釜台町

介護予防の相談は、保健師を中心として、主任介護支援専門員、社会福祉士が介護認定申請受付から認定後のサービスのケアプラン作成委託までをワンストップの窓口として機能します。

介護認定に以降された場合のケアマネ同行訪問をできるだけ行う等、居宅介護支援事業者とのスムーズな連携に努めていきます。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	80	80	80	80	80
10月	11月	12月	1月	2月	3月
80	80	80	80	80	80

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標》

居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。

地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

自己負担なし（全額保険給付）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

主任ケアマネジャーを配置し、特定事業所加算Ⅱを取得しています。

毎週居宅介護支援会議を行い、担当ケースについての情報共有を図るとともに、研修も行い各ケアマネジャーのスキルアップに努めています。

男性2名、女性1名のベテランケアマネジャーを配置し、利用者・ご家族の希望により男女の選択ができるようにしています。

地域包括支援センターと連携して、独居・虐待等のいわゆる困難ケースの対応にも力を入れていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	110	110	110	110	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
110	110	110	110	110	110

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- アクティビティ等
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要介護1） 704 円
  - （要介護2） 831 円
  - （要介護3） 963 円
  - （要介護4） 1,095 円
  - （要介護5） 1,227 円
  - （入浴介助加算） 54 円
  - （サービス提供体制加算Ⅱ） 7 円
- 食費負担 800 円
- 紙おむつ代/枚 80 円
- 紙パンツ代/枚 100 円

《事業実施日数》 週 6 日  
《提供時間》 9：30 ～ 16：35

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 3名（常勤兼務）
- 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
- 送迎員 4名（非常勤兼務）

《目標》

ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状態に応じてサービスを選択できるようにしています
- ・機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。
- ・心身状態重度の方の対応も積極的に行っています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
570	570	570	570	570	570
10月	11月	12月	1月	2月	3月
570	570	530	530	530	570

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- アクティビティ等
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 1,766 円
  - （要支援2） 3,621 円
- サービス提供体制加算Ⅱ
  - （要支援1） 26 円
  - （要支援2） 52 円
- 食費負担 800 円
- 紙おむつ代/枚 80 円
- 紙パンツ代/枚 100 円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 3名（常勤兼務）
- 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
- 送迎員 4名（非常勤兼務）

《目標》

ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体状況に応じて、予防通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護とアクティビティを行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています
- ・機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
30	30	30	30	30	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	30	30	30	30	30



◆認知症対応型通所介護事業

提供するサービス内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>○入浴</li> <li>○食事</li> <li>○アクティビティ等</li> <li>○送迎</li> </ul>

実費負担（徴収した項目ごとに記載）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○1割負担分</li> <li>（要介護1） 941 円</li> <li>（要介護2） 1,042 円</li> <li>（要介護3） 1,142 円</li> <li>（要介護4） 1,244 円</li> <li>（要介護5） 1,345 円</li> <li>（入浴介助加算） 54 円</li> <li>（サービス提供体制加算Ⅱ） 7 円</li> <li>○食費負担 800 円</li> <li>○紙おむつ代/枚 80 円</li> <li>○紙パンツ代/枚 100 円</li> </ul>

事業実施日数、提供時間
<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業実施日数 週 6 日</li> <li>○提供時間 9 : 30 ~ 16 : 00</li> </ul>

職員体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者 1名（常勤兼務）</li> <li>生活相談員 3名（常勤兼務）</li> <li>看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務）</li> <li>介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）</li> <li>機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）</li> <li>送迎員 4名（非常勤兼務）</li> </ul>

目標
<p>ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状況に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。</p>

その他（特徴的な取組、PR等）

高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。

特に、認知症対応型通所介護（みどりデイサービス）についてはまだ地域に周知されておらず、宣伝・広報に力を入れています。

機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	150	150	150	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	150	150	150

平成29年度 「横浜市常盤台地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,252,000	0	15,252,000		15,252,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
<b>収入合計</b>	<b>15,252,000</b>	<b>0</b>	<b>15,252,000</b>	<b>0</b>	<b>15,252,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>10,030,000</b>	<b>0</b>	<b>10,030,000</b>	<b>0</b>	<b>10,030,000</b>	
本俸	6,000,000		6,000,000	0	6,000,000	
社会保険料	1,200,000		1,200,000	0	1,200,000	
手当計	2,665,000		2,665,000	0	2,665,000	
健康診断費	35,000		35,000	0	35,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	130,000		130,000	0	130,000	
その他	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>1,646,000</b>	<b>0</b>	<b>1,646,000</b>	<b>0</b>	<b>1,646,000</b>	
旅費	20,000		20,000	0	20,000	
消耗品費	632,000		632,000	0	632,000	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	217,000		217,000	0	217,000	
通信費	240,000		240,000	0	240,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	56,000		56,000	0	56,000	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	65,000		65,000	0	65,000	
リース料	40,000		40,000	0	40,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	366,000		366,000	0	366,000	
<b>事業費</b>	<b>556,000</b>	<b>0</b>	<b>556,000</b>	<b>0</b>	<b>556,000</b>	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	514,000		514,000	0	514,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>2,218,000</b>	<b>0</b>	<b>2,218,000</b>	<b>0</b>	<b>2,218,000</b>	
建築物・建築設備点検	229,000		229,000	0	229,000	指定額
光熱水費	710,000	0	710,000	0	710,000	
電気料金	426,000		426,000		426,000	
ガス料金	163,300		163,300		163,300	
水道料金	120,700		120,700		120,700	
清掃費	300,000		300,000	0	300,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	指定額
機械警備費	84,000		84,000	0	84,000	
設備保全費	399,000	0	399,000	0	399,000	
空調衛生設備保守	133,000		133,000	0	133,000	
消防設備保守	28,000		28,000	0	28,000	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	16,000		16,000	0	16,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	222,000		222,000	0	222,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	22,000		22,000	0	22,000	
<b>公租公課</b>	<b>802,000</b>	<b>0</b>	<b>802,000</b>	<b>0</b>	<b>802,000</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	802,000		802,000	0	802,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
<b>支出合計</b>	<b>15,252,000</b>	<b>0</b>	<b>15,252,000</b>	<b>0</b>	<b>15,252,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市常盤台地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	21,791,000		21,791,000		21,791,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	147,160		147,160		147,160	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ( )			0		0	
その他 ( )			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>27,727,160</b>	<b>0</b>	<b>27,727,160</b>	<b>0</b>	<b>27,727,160</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>24,437,000</b>	<b>0</b>	<b>24,437,000</b>	<b>0</b>	<b>24,437,000</b>	
本俸	15,496,000		15,496,000		15,496,000	
社会保険料	2,207,000		2,207,000		2,207,000	
手当計	6,454,000		6,454,000		6,454,000	
健康診断費	35,000		35,000		35,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	245,000		245,000		245,000	
その他			0		0	
<b>事務費</b>	<b>1,300,000</b>	<b>0</b>	<b>1,300,000</b>	<b>0</b>	<b>1,300,000</b>	
旅費	25,000		25,000		25,000	
消耗品費	80,000		80,000		80,000	
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	180,000		180,000		180,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	9,000		9,000		9,000	
職員等研修費	65,000		65,000		65,000	
振込手数料	72,000		72,000		72,000	
リース料	274,000		274,000		274,000	
手数料	400,000		400,000		400,000	人材紹介手数料
地域協力費	0		0		0	
その他	95,000		95,000		95,000	
<b>事業費</b>	<b>1,412,160</b>	<b>0</b>	<b>1,412,160</b>	<b>0</b>	<b>1,412,160</b>	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	147,160		147,160	0	147,160	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	326,000		326,000	0	326,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>578,000</b>	<b>0</b>	<b>578,000</b>	<b>0</b>	<b>578,000</b>	
建築物・建築設備点検	61,000		61,000	0	61,000	指定額
光熱水費	184,000	0	184,000	0	184,000	
電気料金	110,000		110,000		110,000	
ガス料金	42,000		42,000		42,000	
水道料金	32,000		32,000		32,000	
清掃費	80,000		80,000	0	80,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	指定額
機械警備費	22,000		22,000	0	22,000	
設備保全費	105,000	0	105,000	0	105,000	
空調衛生設備保守	35,000		35,000	0	35,000	
消防設備保守	7,000		7,000	0	7,000	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	4,000		4,000	0	4,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	59,000		59,000	0	59,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 (軽自動車税)	0		0		0	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費	0		0		0	
<b>支出合計</b>	<b>27,727,160</b>	<b>0</b>	<b>27,727,160</b>	<b>0</b>	<b>27,727,160</b>	
差引	0	0	0	0	0	

## 平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ときわの森 子育て広場	乳幼児と親	32,180		7,000	25,000	2,700	4,480
	20組×8回						
	100円						
ときわの森 らくらくストレッチ 体操教室	高齢者	65,600		50,000	60,000	0	5,600
	30組×10回						
	200円						
ときわの森 ステップエアロ	地域	95,760		50,000	84,000	0	11,760
	10名×21回						
	300円						
ときわの森和菓子&パン教室	地域	51,800		22,000	33,000	16,000	2,800
	10名×5回						
	500円・700円						
歌声サロン	地域	56,540		65,000	40,000	16,000	540
	60名×12回						
	100円						
認知症サポーター養成講座	小中高生・地域	800		0	0	800	0
	20名～300名×8回						
	0円						
ときわ介護者のつどい 「ゆうずる」	介護者・地域	0		0	0	0	0
	8名×6回						
	0円						
ときわカフェ	地域	22,000		21,000	0	12,000	10,000
	50名×12回						
	50円						
ときわの森ハハトコ広場	乳幼児と親	10,000		0	8,000	0	2,000
	10名×3回						
	0円						
スポーツ吹き矢	地域	9,000		23,000	0	9,000	0
	20名×24回						
	50円						
貯筋運動	成人・高齢者	10,000		0	0	0	10,000
	15名×24回						
	0円						
終活講座	地域	0		0	0	0	0
	20名×3回						
	0円						
介護予防講座	高齢者	54,000		0	47,000	3,500	3,500
	25名×8回						
	0円						
留学生から学ぶ初級韓国語 講座A	地域	50,600		29,000	48,000	2,600	0
	10名×22回						
	200円						
留学生から学ぶ初級韓国語 講座B	地域	35,600		13,000	33,000	2,600	0
	10名×22回						
	200円						

## 平成29年度 自主事業収支計画書

園芸ボランティア活動	地域	15,300		0	0	14,000	1,300
	15名×11回						
	0円						
ときわの森ボランティア感謝祭	地域・ボランティア	30,000		0	0	30,000	0
	35名×1回						
	0円						
ときわの森子育て広場「プール」	乳幼児と親	14,000		0	0	5,000	9,000
	20名×3回						
	0円						
ときわの森中学生のためのボランティア講座	中学生	2,500		0	0	1,500	1,000
	10名×1回						
	0円						
ほっとフレンズ2017夏ボランティア研修・説明会・夏祭り	障害児・障害者	0		0	0	0	0
	20名×2回						
	0円						
ほっとフレンズ2018春ボランティア研修・説明会・春祭り	障害児・障害者	0		0	0	0	0
	20名×2回						
	0円						
ヘルキー秋フェスタ&利用者発表会	地域	80,000		60,000	0	80,000	0
	400名×1回						
	物販として						
ときわの森親子で楽しむクリスマス人形劇	乳幼児と親	8,560		2,500	5,000	3,000	560
	20組×1回						
	100円						
ほどがや区民まつりの参加	地域	0		0	0	0	0
	450名×1回						
	0円						
ときわの森音と音楽で遊ぼう	障害児と親	116,160		0	110,000	0	6,160
	10名×11回						
	0円						
ときわの森七タコンサート	地域	44,000		0	0	35,000	9,000
	300名×1回						
	0円						
ときわの森救急法基礎講習&救急員養成講習	地域	88,000		80,000	0	79,500	8,500
	30名×3回						
	3200円						
ときわの森親子で作る和菓子&パン教室	地域	11,560		5,000	6,000	5,000	560
	10組×1回						
	500円						
第9回桜まつり	地域	50,000		60,000		50,000	
	600名×1回 物販として						
ときわの森 幼児のための短期救急法	地域	8,560		2,000	3,000	5,000	560
	20名×1回						
	100円						
障害児余暇支援事業 「スカイダックに乗ろう」	障害児と親	0		0	0	0	0
	10組×1回						
	0円						

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市常盤台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ときわの森 子育て広場	<p>目的：親子のふれあい及び親同士・子同士の交流の場を目的とする。</p> <p>内容：読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ会及び下記の内容で開催。</p> <p>(4月) お話会とこいのぼり作り (5月) リズム遊び (6月) 緑川先生と遊ぼう (9月) 親子で体操・食育について (10月) リズム遊び (11月) 緑川先生と遊ぼう (1月) リズム遊び (2月) おはなし会とおひなさま作り</p>	<p>平成29年4月～平成30年2月 原則 毎月1回</p> <p>原則第4木曜日</p> <p>計8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森子育て広場「プール」	<p>目的：水遊びを通して親子の交流を図る。</p> <p>内容：デイサールームに面した庭でビニールプールで水遊びを行なう。学生ボランティアをお願いして一緒に遊ぶ。</p>	<p>平成29年7月～平成29年8月</p> <p>原則第4木曜日</p> <p>計3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	<p>目的：高齢者を対象とした転倒予防などを目的とした体操教室。</p> <p>内容：椅子を使用して無理なくストレッチと体操をする。</p>	<p>平成29年4月～平成30年3月 毎月1回 原則月末</p> <p>計10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 ステップエアロ	<p>目的：中高年、子育て中の母親等、地域住民の日頃の運動不足解消と介護予防を目的とする。</p> <p>内容：ステップ台を使用して行うエアロビクス。中高年を対象にし、音楽に合わせて曲が終わるまで身体を動かす。</p>	<p>平成29年4月～平成30年3月 毎月2回</p> <p>原則第1・3水曜日</p> <p>計22回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森和菓子&パン教室	<p>目的：比較的若い世代の方々に気軽に参加してもらうことを目的とした料理教室。出来ればケアプラザにおける調理ボランティアの発掘にもつなげたい。</p> <p>内容：隔月で開催 種類を変えて、パンや和菓子など初めての方中心で作りやすいメニューを講師と一緒に作成し試食する。</p>	<p>平成29年4月6月8月10月12月、平成30年2月</p> <p>原則偶数月1回</p> <p>計6回</p>

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン	目的：地域住民が歌う事を楽しみ声を出すことで脳の活性化につながる。又、歌を通じて集うことで引きこもり予防も図る。 内容：ピアノの伴奏にあわせて、なつかしい歌をみんなで歌う。四季に応じて選曲した歌詞カードを用意し、季節感を楽しんでいただく。	平成29年4月～平成30年3月 毎月1回 原則第1火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症を正しく理解する事で、認知症の方々を地域で見守るサポーターを増やす。 内容：各地域の自治会、ケアプラザの事業参加者、地域住民、小中学校、大学等に向けて認知症の理解を深める講座を開催する。	年8回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい「ゆうづる」	目的：介護されている方々の心のケアと情報交換などを行う交流会。 内容：原則隔月で開催。懇談会や施設見学を予定している。	平成29年5月7月9月11月、平成30年1月3月、年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわカフェ	目的：多目的ホールを活用し、ケアプラザ・コミュニティハウスに気軽に立ち寄れる憩いの場所を目的とする。 内容：民生委員とボランティアが協力して、手作りケーキ付きでコーヒーやお茶を100円で提供する。障がい者施設による手作りパンの販売も行う。	平成29年4月～平成30年3月 毎月1回 原則第4金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森ハハトコ広場	目的：土曜日に多目的ホールを解放して親子同士が自由に交流ができる。 内容：コンサートや父親との工作作りなども開催して親子で楽しむ。	平成29年9月11月 平成30年3月 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹き矢	目的：年齢を問わずに誰でもでき、腹式呼吸をベースに精神力や集中力・血行促進と細胞の活性化など健康増進効果を目的としている。 内容：専用の危険のない矢を用いて的に当てるというスポーツ吹き矢。講師をボランティアで招いて、地域住民に向けて開催。	平成29年4月～平成30年3月 毎月2回 原則第2・4水曜日 年24回



# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貯筋運動教室	目的：寝たきり予防を目的とした運動教室。 内容：毎回テーマを決めて講座を開催していく。	平成29年4月～平成30年3月第1・3木曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活講座	目的：権利擁護に関する認識と啓発。 内容：鹿屋大学が考案した主に足腰の筋肉を鍛えられる運動を毎月2回継続して行う。	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座	目的：高齢者対象で介護予防・認知症予防の啓発。 内容：口腔ケア、運動、栄養を脳トレーニングの内容を中心で開催していく。	平成29年9月 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
留学生から学ぶ初級韓国語講座A	目的：横浜国立大学の留学生と地域住民と語学を通じた交流を図る。 内容：基本的な単語・文法・会話などを楽しく学ぶ。	平成29年4月～平成30年3月毎月第1・3火曜 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
留学生から学ぶ初級韓国語講座B	目的：横浜国立大学の留学生と地域住民と語学を通じた交流を図る。 内容：基本的な単語・文法・会話などを基礎を学びスキルアップしていく。	平成29年4月～平成30年3月毎月第1・3火曜 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸ボランティア活動	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共用部分の庭などの整備をボランティア中心で活動し、交流を深めていく。 内容：季節の花植え・野菜の栽培などを定期的に行ってもらう。	平成29年4月～平成30年3月毎月第3月曜 11回

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森ボランティア感謝祭	目的：ケアプラザ内外で活動されているボランティア同士の交流を目的とする。 内容：地域のボランティアによる演奏会、昼食会、懇談会を開催。	平成29年9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森中学生のためのボランティア講座	目的：近隣の中学生を対象にボランティアに関心もってもらうための講座。 内容：ボランティアについてと認知症についての理解の話を行う。デイサービスでのレクリエーション体験。	平成30年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2017夏ボランティア研修・説明会・夏祭り	目的：障害を持っている子どもたちを対象とした余暇支援。同時にボランティアに障がいに関して理解を深めてもらう機会とする。 内容：レクリエーションとして夏まつりを模擬店などを中心に開催する。開催前にボランティア事前研修、説明会を行う。	平成29年7月 2回（説明会含む）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2018春ボランティア研修・説明会・春祭り	目的：障害を持っている子どもたちを対象とした余暇支援。同時にボランティアに障がいに関して理解を深めてもらう機会とする。 内容：レクリエーションとして春まつりを模擬店などを中心に開催する。開催前にボランティア事前研修、説明会を行う。	平成30年3月 2回（説明会含む）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルキー秋フェスタ&利用者発表会	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共催イベント。地域住民にの交流の場として、又子供から大人まで多くのボランティアが関わっていくことで地域とのつながりを目指している。 内容：保土ヶ谷中学吹奏楽演奏・各種手作り品販売・ときわカフェの開催・福祉用具の展示と体験など。同時に利用者発表会も開催予定。	平成29年11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森親子で楽しむクリスマス人形劇	目的：日曜日に親子同士で楽しいひと時を人形劇を通じて交流を図る。 内容：クリスマス人形劇の開催。	平成29年12月 年1回

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ヶ谷区民 まつりの参加	目的：区民が多数来場する「保土ヶ谷区民まつり」の区内全ケアプラザ担当職員参加する事で、地域住民にとってケアプラザが身近で気軽に立ち寄れる場所である事を周知するための参加。 内容：パネル展示・来場者に保土ヶ谷やケアプラザ情報を周知できる内容での企画を計画して開催する。	平成29年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 音と音楽で遊ぼう	目的：障がい児の余暇支援（放課後支援）。 内容：特別支援教育士のもと打楽器・ピアノなどを活用して音楽を通じて発達に片寄りのある子どもを対象に特別支援感覚の統合・調整を行う。	平成29年4月～平成30年3月 毎月 1回 原則 第1水曜日 年11 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 七夕コンサート	目的：地域の方々に近隣の大学生と小学生の吹奏楽を楽しんでもらう事で地域の交流をはかる。 内容：横浜国立大学吹奏学団と常盤台小学校のマーチングバンドの演奏会の開催（7月）。	平成29年7月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森救急 法基礎講習&救 急員養成講習	目的：赤十字救急法を学びいざという時の対処を身につける。 内容：三日間で心肺蘇生法・AEDの使用法・傷の手当て・三角布の使用法・救急搬送・担架搬送などを学ぶ。	平成29年1月に3 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 親子で作る和菓 子&パン教室	目的：親子で参加してもらうことで、ケアプラザを身近に感じてもらう。 内容：あんみつ&スコーンを親子で作る。	平成29年7月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第9回桜まつり	目的：ケアプラザとコミュニティハウスの共催イベント。地域住民に楽しんでいただくとともにケアプラザ・コミュニティハウスに関心を持っていただく機会の提供。 内容：バザーの開催。 ・キッズフリーマーケット。 ・ボランティアと職員の共同作業による手作りちらし寿司・焼きそば・桜もちなどの販売。 ・園芸ボランティアによる花販売。	平成30年3月 年1回

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森幼児のための短期救急法	目的：いざという時のために子育て中の親を対象とした短期救急法講座。 内容：けがや子どもに起こりやす事故を学ぶ。	平成30年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援事業 「スカイダックに乗ろう」	目的：障害を持った子どもと親を対象とした余暇支援。 内容：みなとみらいにあるスカイダックに乗る外出企画。	平成29年8月 1回